

令和4年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立青嵐中学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	2二②漢字を書く(よろこんで) 文脈に即して漢字を正しく書く	76.7	多くの観点において全国・都の平均を上回り、国語の基礎的な知識・理解が定着していると考えられる。また、記述式の問題について正答率の高さ及び無回答率の低さが顕著であり、あきらめず粘り強く取り組む意欲が見られる。	2二②は、全国・都平均ともに下回っている。日常的に用いる漢字を正しく書くことについて、国語科に限らずどの教科でも指導をしていく。表現の技法など、正確な知識や技能を身に付けるための指導の工夫が必要である。理解したことを友達と確認したり、教え合う活動を取り入れて、定着を図る。
	3一「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する	54.1		
	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	47.9		
算数・数学	4変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	41.8	関数以外の3領域について全国・都平均を上回っており、数学についての基礎的な力が身に付いていると考えられる。無回答率の低さから、問いに対して粘り強く取り組もうとする姿勢が見られる。	関数の基礎的な理解に課題が見られる。「変化の割合」など語句をただ覚えているが、意味を理解していない可能性がある。生活と関連付けて説明するなど指導の工夫が必要である。また、グラフの座標を書く問いでは、解答類型に分類されない誤答が多い。そもそも文章題で何を問われているか正確に把握できていないことが考えられる。問いを正確に把握するよう、指導する時間を意識的にもつようにする。
	8(1)与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く	52.1		
	9(2)∠ABEと∠CBFの和が30°になる理由を示し、∠EBFの大きさがいつでも60°になることの説明を完成する	18.5		